



進路だより

福島県立たむら支援学校
進路指導部通信 第2号
令和3年 12月 24日

後期産業現場等における実習を実施しました

本校では、望ましい勤労観、職業観を育むために中学部、高等部では職業教育の一環として産業現場等における実習を年2回計画しています。前期実習と同様に中学部は校内で、高等部は校外や校内で実習を行いました。

【中学部】

中学部では、11月30日（火）から、12月9日（木）までの8日間、通常の作業学習での作業班に加えて、民間企業の御協力をいただきシャープペン組み立ての委託作業に取り組みました。一人一人が毎日の目標を持つことで積極的に取り組めたようです。前期の産業現場等における実習よりもまた一步成長した姿が見られました。



(家庭班・ミシン作業)



(農工芸班・紙すき作業)



(請負作業班)

【高等部】

高等部では、11月8日（月）から19日（金）までの10日間で実習を実施しました。校内実習では、民間企業の御協力をいただきカレンダー巻きと割りばし入れの委託作業と、市役所の清掃活動に取り組みました。前期実習では校内実習のみだった一年生は、今回の実習では1週間の校外での実習も経験しました。企業や福祉サービス事業所の御協力のもと、卒業後の進路や「働く力」について知ることができ、自らの進路決定に向けて意識を高めることができました。



(高圧洗浄機にて市役所の清掃)



(割りばしを袋に入れる作業)



(校外実習の様子)